



紀宝町

議会だより

第30号

平成26年 6月1日発行

読んでみよう
書いてあるかな?

どんなことが



議会日誌

- 1月 27日 三重県町村議会議長会理事会（津市）
29日 熊野川流域対策連合会理事会及び臨時総会
（新宮市）
2月 3日 議会運営委員会
6日 紀南病院組合臨時議会（御浜町）
20日 教育民生常任委員会
紀南介護保険広域連合議会定例会（熊野市）
21日 紀南環境衛生施設事務組合議会定例会
（新宮市）
22日 子ども議会
24日 議会運営委員会
三重県町村議会議長会理事会（津市）
26日 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会
（津市）
27日 全員協議会
議会運営委員会
熊野川流域対策特別委員会
港湾・井田海岸浸食対策特別委員会
3月 5日 第1回定例会 第1日目

平成26年 1月～3月

- 14日 災害復興対策特別委員会
16日 自衛隊入隊入校予定者激励会（津市）
17日 議会運営委員会
第1回定例会 第2日目
18日 第1回定例会 第3日目
19日 第1回定例会 第4日目
23日 世界文化遺産川の参詣道「熊野川」景観保護
を求める要望活動
(国土交通省・文部科学省) [24日まで]
25日 国道42号歩道完成式典
26日 東紀州農業共済事務組合定例会（熊野市）
27日 紀南病院組合議会定例会（御浜町）
南牟婁清掃施設組合議会定例会（御浜町）
紀南社会福祉施設組合議会定例会他（御浜町）
熊野川河口に橋を架ける会臨時理事会
（新宮市）
30日 紀勢自動車道（海山ICから紀伊長島IC）
開通式
31日 紀宝町保健対策協議会

心して暮らせる町となるよう、環境の整備に努めてまいります。水道事業におきましても、住民サービスの向上を図り、納付者の利便性を考えまして、水道使用料の納付がコンビニエンスストアで納付ができますよう準備を進めているところでございます。

企画調整課長

高速道路の南進を活かした産業振興と雇用拡大の推進等が特記事項として上げられています。これから町長の意向を伺いながら町民の皆さん安心して暮らせる町、誇りと愛着を持てる町づくりの実現に向けて課内職員一同、頑張つて努めてまいりたいと思います。

教育課長

学力向上を図るソフト事業や、安全安心を確保するハード事業を中心とした教育環境の充実を図る取り組みを進めています。また引き続き防災教育を推進していくと共に、学校施設の非構造部材の耐震化を図ついくことによって、児童生徒の安全安心を図つていきたくと考えております。

町長答弁にもございましたが、人の命が一番、子どもは町の宝物。高齢者は町の誇りを基本におきながら、子どもを安心して、生み育てることができるる町づくり。いつまでも地域で暮らせる元気と生き甲斐を育む町づくりの実現に向けて、各施策について尽力してまいりたいと考えております。

産業建設課長

町長が掲げておられます、6つの基本目標を達成するため、農林水産商工業振興のための基盤整備の促進、地場産品のブランド化の推進。あらゆる基盤整備、12号台風からの早期復旧復興、河口大橋の早期着手など、必要な情報と適切な事業展開を進めてまいりたいと考えております。

健康づくり推進課長

町民への健康づくり支援とサポートをおこない、子どもから大人までが健康で生き活きと安心して、元気に暮らせることを目指して、体の健康や心の健康、栄養問題や運動機能向上などの専門的な指導や、医療、福祉、町機関との連携を図りながら健康づくりの施策推進を誠心誠意おこな

つてまいりたいと考えております。

議員

町長の思いと各担当課から、町長の思いに沿った実行ができる方向性の考え方を聞かせていただき、私一議員としては、大変心強く聞かせていただきました。

南海トラフ地震が発生した場合に、著しい地震災害が生ずるおそれがある地域を「南海トラフ地震防災対策推進地域」、特に著しい津波災害が生じる恐れがある地域を「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」となっている。紀宝町について、指定基準に照らし合わせると「特別強化地域」に指定されるものと思われます。

総務担当理事

国からの財政支援、これは避難施設や避難経路の整備は国が3分の2を助成。補助を望む自治体もあるが、危険な自治体というイメージを懸念する声もあります。政府は指定候補自治体の意向を踏まえ、今月3月末までに意向調査をし、国の防災対策推進基本計画を策定する方針であるが、紀宝町のお考えをお聞かせください。

議員もご指摘されておりまますように、対象となる自治体によりましては、マイナスのイメージを懸念する声もあるものと思いますが、東北での大震災を見ておりますと、大災害に備えた町づくりを進めが必要があるものと考えております。南海トラフ地震対策特別措置法により、避難路などの整備に対する、国の補助率が嵩上げされることには、財政的に非常にありがたいことありますため、「特別強化地域」の指定に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

議員

両地域の指定をめぐつては國からも同様の考え方で安全に取り組んでいる町として、堂々と胸を張つて指定を受けるべきだと思います。今後、自主防災組織の意見を吸い上げて反映していく計画にしていただきたい。安全には科学的根拠が必要で、安心には信頼や信用が必要だと思いますので、今後の対策をよろしくお願いを申しあげます。

議員

私は同様の考え方で安全に取り組んでいる町として、堂々と胸を張つて指定を受けるべきだと思います。今後、自主防災組織の意見を吸い上げて反映していく計画にしていただきたい。安全には科学的根拠が必要で、安心には信頼や信用が必要だと思いますので、今後の対策をよろしくお願いを申しあげます。

南海トラフ地震対策特別措置法



榎本 健治 議員

- ・南海トラフ地震対策特別措置法について
- ・議会図書室設置について
- ・大綱説明・諸報告について

太平洋沿岸を中心に茨城県から沖縄県までの30都府県、

705市町村を国の財政支援

総務担当理事

議会図書室設置

議員

紀宝町条例のなかにも議会図書室の設置について記載をされておりますが、現在図書室はありません。今後どのように整備していくのか。

議会事務局長

紀宝町議会事務局設置条例施行規則の中で、議会の事務局の事務分掌として「議会図書室における図書の整理及び保管に関すること」とあります。今後、議員の皆様の調査研究に、役立つ為には、どのような方法が良いのか議員の皆さまと相談しながら設置に向けてまいりたいと思います。

大綱説明・諸報告

議員

行政の責務として今後の備蓄品の整備という項目がござりますが。昨年度、特に鵜殿小学校では地域の自主防、学校行政と連携して、備蓄品

を学校内に置かせていただくことが可能になりました。しかし、高台の避難所として、まだ足りないのが現状でございます。学校側も積極的に空き教室を備蓄品置き場として、活用させていただける意向のなかで、今年度の備蓄品に関する計画と各学校での状況は。

特別参与

今、順次整備を進めていて、とりあえず毛布30枚等を配置させていただいておるところです。今回のように鵜殿小学校については積極的にご配慮をいただいたわけですが、れども、他の、学校につきましては、まだ空き教室等の検討はさせていただいておりませんので、学校への配置等は十分ではございませんが、各地区の自主防災組織の倉庫等に配備しています。今後は学校のご理解をいただければ、避難所になることから空きスペースがあれば、備蓄をしていきたいと思います。

教育課長

正式な点検までは至っていないのが現状でございます。今後、その点検方法等も含めて、検討を進めてまいりたいと考えております。備品等につきましても、また内容を再度精査しまして、必要な対策を講じていきたいとこうふうに考えております。

議員

次に横断的な相談支援体制づくりについて、現在紀宝町では通園めだかが開所されて、早期発見・そして早期養育ができる環境が整えられております。厚生労働省管轄、福祉課である保育所。そして文部科学省管轄の教育課である小学校と、

相談支援等行う体制を整備していくために、特別支援教育連絡協議会を設置しています。議員ご指摘の横断的な取り組みにつきましても、より良い支援体制が充実できるよう進めていくたいと考えています。

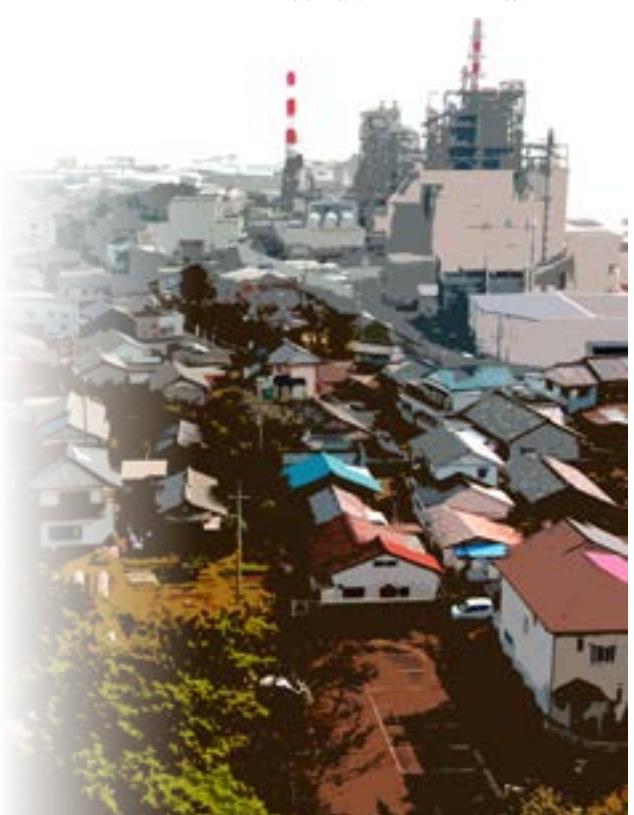
福祉課長

現在のところ子育て支援センターを中心に関係機関と連携を取りながら、横断的に相談体制を取っているところでございますけれども、子どもの成長に合わせて、相談内容も違ってくる

避難所指定がされているなかで、避難生活がはじまるとき食施設があるランチルームでは、炊き出しが可能である。いざというときに備えて、ランチルームの給食施設の点検管理状況や、給食施設の備品については、現在どのようになっておりますか。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。
<http://www.enomotokenji.com/japan.htm>

現在のところ子育て支援センターを中心に関係機関と連携を取りながら、横断的に相談体制を取っているところでございますけれども、子どもの成長に合わせて、相談内容も違ってくる





的場 孝一 議員

- ・水道事業について
- ・公園広場の整備について
- ・ふるさと納税について

議員

水道事業

この2年余り、災害復旧復興、防災対策の意識が高く、他の行政政策について、少し震んでしまっているように私は思っています。紀宝町後期基本計画に基づく施策から一年が経過し、不安、疑問の観点から、質問します。水道施設は、昭和54年度から稼働し、老朽化も進み安定した飲料水の供給を図る為、資金面も含め喫緊な抜本的改革が必要と思われます。飲料水確保一億円償還することになり、

は、生活の必需品であり、町の財産ですから、私達には次世代の人々に引き継ぐ使命があり、私達に課せられた課題だと思います。今迄に健全経営を図るため、事務の効率化、人員削減等行っていると思いますが、基金も枯渇し、現在でも、一般会計から3000万円程繰り入れて、細々と繋いでいるのが現状で、もう限界に見えます。

環境衛生課長

給水人口の減少により料金の収入の増加が見込めない中、平成25年度まで事業を開してまいりましたが、現在の状況から推移しますと、平成27年度におきましては、資金不足のため、当初予算が編成できない見込みとなっています。

議員

24年度の水道事業企業債の決算では、未償還残高が18億3千万となっております。現実には、企業債償還金終期を迎えるのは、早くも平成28年度からで返済は少額に過ぎず、今後すぐに企業債が大きく減っていくことはありません。毎年一億円借り入れし、一億円償還することになり、

利息分は補助金から出す事になります。大きな補修、老朽配管の取り換え等発生すれば、借金が増える事になります。このような状態を世間では、何々操業というと、行政として、有収水量率の向上、未収金の回収に努めて下さい。これらの事柄を勘案し、今後の水道事業全体のシミュレーションを立案して欲しいと

思います。また、広報紙ほう等で住民に現状を説明し、理解して貰う事が大切ではないでしょうか。

環境衛生課長

全国的に、給水人口の減



私は、水道事業は特別会計ですから、主旨から言えば本来は水道料金で賄うけどだと思いますし、不足金は、補助金を増額するだけでは、何の解決にも立たないと思います。また、税の不平等に成りかねません。消費税率のアップ、様々な値上げが見込まれていますが、飲料水を次世代に引き継ぐ為にも、安定した水道事業に近づくよう、急激なまでともなく水道料金の改定を急ぐべきと

いる問題を住民の皆様に周知して参りたいと考えています。今後とも安全で安心な水道水をお届けしていく為、事業環境の変化や、経営課題を踏まえて事業運営の指針となる長期的な事業計画、財政計画のシミュレーションを行った上で、具体的な数字を示したいと考えております。

議員

私は、水道事業は特別会計ですから、主旨から言えば本来は水道料金で賄うけどだと思いますし、不足金は、補助金を増額するだけでは、何の解決にも立たないと思います。また、税の不平等に成りかねません。消費税率のアップ、様々な値上げが見込まれていますが、飲料水を次世代に引き継ぐ為にも、安定した水道事業に近づくよう、急激なまでともなく水道料金の改定を急ぐべきと

私も大変危機感を持ちながら、水道事業の運営に当たつて行かなければならぬと思っています。今まで鋭意努力し延命をさせてきた訳ですが、丸々操業の状況も逸脱していかなければ、民間的には運営が成り立たない状況に至ってきています。町民の皆様方に危機的な状況であるということを、ご理解いただくな

町長

中、運営に向けて努力しています。

私は、水道事業は特別会計ですから、主旨から言えば本来は水道料金で賄うけどだと思いますし、不足金は、補助金を増額するだけでは、何の解決にも立たないと思います。また、税の不平等に成りかねません。消費税率のアップ、様々な値上げが見込まれていますが、飲料水を次世代に引き継ぐ為にも、安定した水道事業に近づくよう、急激なまでともなく水道料金の改定を急ぐべきと

公園広場の整備

議員

紀宝バイパス道路が開通し、あらゆる面に利益効果が現れています。片方では、子ども達の遊び場がなくなつた側面もあり、バイパストンネル東口周辺では、住民の憩いの場としていた所もなくなっています。この辺りは、町道

田代七瀧線の「フラワー口」
ド」入り口として住民に親しまれ、散歩コースでもあります。平成28年度設置目標の19箇所の一つとして、バイパス東口入口左側に設置して貢えませんか。

議員 意外と少ないと思います。

議員
何時かは結果に結び付くことを信じ、積極的な活動効果的な対応を研究してみれば、いかがですか。
①出身者やゆかりのある人へ直接PRする。
②ホームページや広報誌などでPRする。

西村喜久男議員



現状値17箇所を 平成28年
度目標値19箇所に整備すると
しています。子ども達の遊び
場、住民の憩いの場として身
近な公園確保に取り組むもの

です。心地よい公園にする為に地域住民のご意見を反映し、限られた財源の中で、慎重に検討させて頂きたいと思います。

税務住民課長
ホームページのPRのみとなっています。地元出身者への声掛け、パンフレット配布等、今後PR活動を強化し進めてまいります。

税務住民課長
今後、関係機関とも相談しながら検討していくたいと申します。

- ・犠牲者ゼロへの取り組みについて
- ・県道の危険箇所対策について
- ・河川の堆積土砂対策と維持管理について

ような電気火災を防ぐ為に、自動的に電気ブレーカーを落とす等の取り組みについてどの様にお考えですか。

ふるさと納税

議員

「ふるさと納税」の創設から5年が経過しましたが、紀宝町が受け取られた税は、昨年何件ですか。

稅務住民課長

現在のところ、2件11万円
です。



議員 避難困難者等につきましては、住民皆様方との避難訓練の中で、いろいろ検討させていただいているところです。バリアフリー化や、手摺等の設置につきましても、現在順次進めているところです。

議員 歩行困難の方、視力障がい者、児童、高齢者等の皆様へお手紙を頂きました。

歩行困難の方、視力障がいの方、認知症の方など、避難困難者に対してはどの様にお考えですか。

いたと言われていることが
ら、今後は、各地域の防災訓
練などでも、出火防止対策に
ついて、住民の皆様に周知し
てまいりたいと考えております。

議員 装置や設備を改造するとな
ると多額の費用が掛かります
が、防災グッズを家庭のブレ
ーカーに設置し、震度5から
7ほどの設定ができ、振動が
あつた時にブレーカーを落と
す、これを防災訓練でPRし

議員

議員

阪神淡路大震災では、広範

ていただき、また、助成していただけ取り組みについての考え方はどうですか。

特別参与

有効な手段については、P.Rしていく必要があると思います。行政として、助成については、まだ検討しております。

議員

災害救助犬ネットワークとの協力体制と、必要性についてはどの様にお考えですか。

総務担当理事

本町においては、現在のところ応援協定は締結させていただいておりません。三重県が災害救助犬ネットワークなど団体と災害時における出動に関する協定を締結しており、必要となつた場合、紀宝町から三重県に応援を求め、各団体に出動要請が行われる事となります。

町長

災害の状況によって、対応していく必要があると思いますし、災害救助犬の必要性についても強く感じているところです。



県道危険箇所

議員

桐原側より阪松原センターまでの約100m間で道路幅

が狭く、見通しも悪いので、過去にも、何度か事故が発生しており、一歩間違えば人命にもかかるような状況だと思います。この坂道でもある危険箇所の対策はどの様にお考えですか。

堆積土砂対策と維持

産業建設課長

限界集落

議員

過疎化などで、人口の50%

現道拡幅案では、家屋移転が必要で移転補償に築造年数が経過していること等から地権者が望む補償費に対応できないとの結論に至っております。今後は、県道紀宝川瀬線の他事業箇所との調整もある程度から大里親水公園付近で治水対策の一環として、砂利採取を活用し、堆積土砂の撤去などいろんな取り組みを進めています。ただでいるところであります。

堆積土砂を撤去していただき、相野谷川の現状を維持するためにどの様にお考えですか。

産業建設課長

国からも、この河川環境を維持し、必要な治水対策を行ない、安全で美しい相野谷川を維持していくと、伺っております。また県では、河川の堆積土砂撤去について、河川管理上重要と認識しており、緊急度の高い箇所より計画的に撤去していく予定と伺っております。町としましても、相野谷川の治水対策等の維持管理を引き続きしっかりと行なつていただきよう要望するとともに連携を密に、治水対策を進めてまいります。県では昨年度から大里親水公園付近で治水対策の一環として、砂利採取を活用し、堆積土砂の撤去などいろいろな取り組みを進めています。ただでいるところであります。

議員

が5歳以上の高齢者になり、冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になつた集落を限界集落、地域と言われております。支援状況はどの様になりますか。

企画調整課長

本年2月末現在、町総人口11783人のうち65歳以上が人口3643人となっており、65歳以上の高齢者が人口の50%を超える地区として、浅里地区、北桧枝地区、瀬原地区となつてあります。支援状況ですが、浅里地区住民、三重大学、三重県、町、が連携協力する中で、集落支援モデルの構築事業を外部の視点を取り入れながら、地域資源の再発掘を行いますとともに、地区住民自身が集落の現状と、課題を見つめ直し、自立・持続可能な地域社会の形成を目指し事業を進めてまいります。町としても、限界集落と定義されます、集落の維持・再生・活力ある集落構築を図るスタートと位置づけ、この浅里地区をモデルに共に勉強・検討を行い、他の地区にも波及し、役立てられるよう取り組んでまいります。

議員

新宮市で各戸に配布される
いる防災マップには市民に発
信する情報が多く今後のマッ
プ作成には参考にしていただき
たい。二点目は、災害時の
長期断水について原水を浄水
場下熊野川より緊急的に取水
できるよう揚水ポンプを常備
するお考えはないのか伺いま
す。

つておりません。

今後の課題として、情報収集に努めると共に情報提供に努めたいと考えております。

特別参考 確保しなければならない。そのための対応システムや必要な準備、方針など、どのようになつてゐるか。

特別参考 やはり阪神淡路大震災のときも、今議員さんご指摘されましたように、職員の41%と いうことで、台風等と違つて、地震のときにはやはり町民皆さんのが被災者になる可能性があることが考えられます。そのための被害想定を立てて、やつております。やはりどれだけの被害がでるかということについては、非常に難しい状況でございます。そのため、町といたしましても、昨年も行わせていただき

ました。職員の非常時参集訓練ということも実施させていただきました。そのなかでやはり30分以内の登庁と。町内広うございますので、住宅の位置もござりますけれども、やはり約半分ぐらいの職員が30分以内に登庁していました。だけたというような状況でございます。ですから本年もただそのときが非常参集訓練ということで、職員の招集だけございました。でございましたけれども。今後はいろんな町内の被害想定をするなかで、例えば県道能

人工リークと津波

津波到来時の津波の変化と
リーフの耐久性について伺い
ます。

環境衛生課長

緊急的な場合は検討をしたし

産業建設課長

人工リーフは高潮時の波浪を外力として、安定性計算を行つておりますが、津波による、押し波、戻り流れに対する被覆材等の安定性の確認は行われていないとということですございます。また、現時点では津波の外力、流速等も定まっておりませんので、津波に対する影響というものは分か

議員 防災対策
自治体は大災害が発生した場合、的確な応急対策を進めつつ、優先すべき行政機能を

高垣操男議員



・町長の政治姿勢について（防災対策）

次に緊急時にどれだけの職員が確保できるか。いざ災害が起きたときに、これは阪神淡路大震災の発生当時、大体職員の41%が出動できなかつたという。紀宝町においても百何十名と聞きますが、果たして、そのなかで、何人がその必要な業務に担当できるか。そして住民の生命・生活財産いろんなものを守つて、いく重大なことがありますので、考え方がありましたら上ろしくお願ひします。

情報等の安全性に努めておる
といひでござります。

The image shows a modern architectural structure with a unique design. The upper portion of the building is a large, circular glass-enclosed area supported by a steel frame. Below this, there are several levels of concrete walls with vertical wooden slats. A yellow-painted vertical panel is visible on one of the lower sections. A metal staircase with a white railing leads up to the building. The sky is clear and blue.

野鶴殿線の田代地内で道路が決壊した場合にはどのような行動をとるかとか、いろんな想定のなかで、また職員の参集時間等も取りまとめてまいりたいというふうに考えておるところでございます。

議員

もし何かで出動できなかつた場合、やはりその代理といふか、ここでいわれておる、全ての業務が担当できる職員の日常的な教育、訓練が必要ではないかと思う。その点よろしくお願ひします。

特別参与

非常に難しい問題でござります。日常通常業務をしていただくなからで、例えば災害状況等であれば防災の仕事を皆さんのが対応できる体制づくりということになれば、現在非常に皆さん日常業務のなかでお忙しいなかでご協力をいたただくということになれば非常に時間がかかるんではないかというふうに思つております。しかし今議員さんがおつしやつていただいたように、先程の答弁でもお話させていたきましたが、誰が被災者になるか分かりません。ですから、重点的なことについて

は職員皆さんが対応できるような体制づくりは必要といふことは認識しております。今後そういうような訓練も取り入れていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

議員

日頃から、やはり庁内で議論されるなかで、緊急時にどうしても機能の低下が起らないうように最小限に食い止めるために検討を急いでいただきて、やはりどういうことが起きても万全とはいかないと思ひますけれども、本当に速やかに行動できる体制だけは取つていただきたいと思いますので、その点よろしくお願ひします。

特別参与

やはりですね。速やかに行動取るということは、非常に大事なことだと認識しております。それとやはり職員につきましても、災害の状況等によつては、それぞれ住んでいる地域地域で活動していただかなければならぬということも考えられます。そのため以前から課長会議等通して職員にお願いをしております。おかげさまで町内も36の自主

防災組織を設立していただきております。そのため各地域においては地域に応じた防災訓練を実施していただいておりますので、よろしくお願ひにつきましても各々の地区に

災訓練にも参加をしていただき地域の実情を把握してい

ただく。それで発災時に仮に登庁できない状況になつても地域の情報が速やかに本町に届くような体制づくりのものも心がけておるところでございます。今後とも、やはり

職員の皆さんにもご協力をいただいて地域の実情等を把握していただきよう常日頃から心かけていただきことをお願いしております。

*その他、「学校防災研修会4回目を終えて」「地域包括ケーションシステム」「臨時福祉給付金」についての質問がありました。

行政改革

大石 洋 議員

町長

お答えをさせていただきました。私は、私たちの地域にとりましては、待望の高速道路が、一歩一歩近づいてきているところでございます。平成25年の5月15日には、悲願であります、熊野川の河口大橋を含む、一般国道42号新宮紀宝道路の事業化が決定されました。熊野市久生屋町を結ぶ6・7kmが一般国道42号の採択時評価をされ、さらに、本年2月25日には、熊野市大泊町から熊野市久生屋町を結ぶ6・7km



・行政改革について ・マイターミゲート設置について

行政改革について等お訊ねいたします。一般に行政改革とは、行政組織の効率、経費の削減を目的とすることに主體性を重んじるところでござりますが。今回特に近畿自動車道紀勢線道路において、新宮紀宝町間の河口大橋の事業化、また大泊、久生屋間6・7キロ間が内定とのことでござります。道路の構築によつて、変化する社会情勢を考慮たとき、地域と行政が一体と

議員

なり、この紀宝町に来客をしていただき、経済の向上を考えるのは、一番大切な大事なことだと私は思います。町長のお考へをお聞きしたいと思います。

やつとこの紀伊半島のネックレスがですね。現実のものは小売業をやつておるわけでございますが、小売業に変革が大変、進みまして、店舗が少なくなってきたというような状態でございます。地域は

もちろん行政と一体になつて、いかにこの紀宝町に、お金を落としていただけの町づくりにしなければ、忘れされてしまうんじやないかといふところが一番懸念するところでございます。

町長

議員も生業は小売業されてゐるということで、ご指摘のように、紀宝バイパスが開通をして、時代の流れと共に変化は、あるわけでございまして。鵜殿地区の商業地域等についてもですね。経営者の皆さんと一緒にって取り組んでいく必要があるんだろうというふうにも思つておりますので。行政としてできる部分については、しっかりと支援をしながら、今後、高速道路の開通等に合わせて、紀宝町、特に商業の中心地であります鵜殿商店街等についてもPRできるように努力してま

いりたいと思つております。

議員

是非、地域の方も行政も一体になつてですね。考えていただきたい。次に各担当課の全般的な人材育成の取り組みについてを伺いいたし

ます。

総務担当理事

地方自治体職員には自己決定や自己責任が求められ、また住民の皆さまからのニーズは高度化しております。私たち職員一人ひとりが、常に高い意欲と目的意識を持つて職務に取り組むとともに、住民の視点に立つて考え、コスト意識を持つて、効率的な財政運営を行うことが求められています。それらを実現するため、各職場における専門的な研修や、三重県市町総合事務組合における、研修などにより職員の意識改革を図っております。今後ともご指導をお願い申し上げます。

議員

いろいろと人材育成について、職員一丸となつて頑張つて、いついていただきたい。

マイターゲート

町長

駅裏から鵜殿港につながるマイターゲートの整備についてをお訊ねいたします。

産業建設課長

マイターゲートにつきましては、現在波浪の影響により扉の取り付け部分に故障があり、管理者である三重県において、復旧工事が発注されておりまして、今までの取り付け方法より、頑丈な形状に変更し、6月完成予定というふうに伺っております。

議員

このマイターゲートについてはですね。大変トラブルが多いと。町長もこれ、何度も運んでいただいて、見て足を運んでいただいて、見ております。完成し、そして地域の皆さん方に安心していただけるように、努力をしてまいります。完成し、そして地域の皆さん方に安心していただけるように、努力をしてまいります。

議員

計画を立てて、是非、一日も早くよろしくお願い致します。

法寿坊の中曾川のところから鵜殿港に至る「ルケード管」。マイターゲートが雨水・排水・津波等に対応して大変懸念がされているということを感じまして重々承知をしているところでございます。



大変な答弁いただきましてありがとうございます。コルゲート管について完璧なものにしないと。津波に備えた出口の対策を一日も早くお願ひします。

町長

コルゲート管も今補強等してありますけども。現実的に

は、大きな南海トラフが発生すれば大きな揺れというのもあります。津波等の災害に対して、機能しないと、800人余りの皆様方が被害を受けます。早急に強い思いをもつて、県に対して要望してまいりたいというふうに思つております。完成し、そして地域の皆さん方に安心していただけるように、努力をしてまいります。

ただきましたように、紀宝町あげて、県等に要望してまいりたいというふうに思つてます。

コルゲート管について完璧なものにしないと。津波に備えた出口の対策を一日も早くお願ひします。

実施できるようにしたいと考えております。

議員

新3年生が受けられずに卒業とならないようお願いしたい。



原 章三 議員

- ・高校生医療費の助成制度について
- ・農地中間管理機構について
- ・獣害対策について
- 他

農地中間管理機構

議員

町長は高校生の医療費の助成制度をおこなっていくとしていますが、具体的な実施時期実施内容についてどうなっていますか。

町長

医療費の問題については、平成22年度には小学校卒業まで、平成25年度には中学校卒業まで無料化をおこなってきました。高校生医療費助成についての実施時期については現在検討段階で、出来るだけ早く

産業建設課長

平成26年4月より、農地中間管理制度が開始されます。

耕作者が不在の農地を借り上げ、適正な維持管理を行い、借入希望者を公募で募るものでございます。

財政的支援も離農の際、一回に限り30万円から70万円が支給されるとのこと。さ

らに地域集積協力金として10haあたり2万円から3万6千円が支給されるとのこ

とでございます。

議員

この制度のデメリットとして水田の借り手がなければ補助金が支払われない仕組みとなっている。今後、高齢化、離農が進んでいくとなれば、メリットのある田とそうでない田の違いがはつきりして、耕作放棄地がさらに進むのではないか。

安部首相は、1月22日、イスで開かれた世界経済フォーラム年次総会で、日本の農業について40年以上続いてきた減反政策を廃止する。民間企業が障壁なく農業に参入し、需給の人為的コントロールを抜きにする。このように演説をしています。平成26年度から農地の集積で農地中間管理機構を創設するとしているところですが、そのメリット、デメリットはどうなのですか。

議員

町長

医療費の問題については、平成22年度には小学校卒業まで、平成25年度には中学校卒業まで無料化をおこなってきました。高校生医療費助成についての実施時期については現在検討段階で、出来るだけ早く

す。今後、土地改良のすすめないところについては、国、県の考え方聞いてまいりたいと思っております。

議員

今年度から新たに狩猟免許取得者に対し、助成制度を図るとしているが、具体的な措置はどのようになるのですか。

産業建設課長

獵友会の会員数の維持、若年層の新規加入、後継者育成が大変重要であると考え、銃の狩猟免許取得者に対し、一定の助成をおこない、農作物被害低減、有害鳥獣捕獲への積極的な参加を求めていきます。

議員

今、農家の方から、アライグマによる被害が増え、その檻が少ないのでとの声も聞かれますが、どうなっていますか。

産業建設課長

小型獣の捕獲器については16器追加購入して利用いただく計画でございます。

獣害対策



県道拡幅要望



議員

熊野川激特事業により掘削土砂搬出を採取業者が事業所に搬入していますが道路が非常に狭くて近隣住民からも安全対策、環境面からも意見が出されています。区の方では4年前から拡幅要望が提出されているが未だに放置されているのは何故ですか。

産業建設課長

昨年、生活保護法改定により生活扶助費が平均6・5%、最大10%、総額670億円引き下げが8月から実施されたが町内の利用世帯数、人

議員

紀宝川瀬線の拡幅につきましては区のほうからも要望をいただいている。町として



も改良要望をだし、県としては高岡地区の道路拡幅についても改良予定となっていますので、プラント付近の拡幅については現在至っていないといふことでございます。

員の推移についてお伺いします。
本町における影響額の一例では、50歳単身世帯で生活扶助額、6万3250円であつたものが6万3150円になります。人員の推移につきましては、26年3月1日現在で69世帯、86人、1年前では66世帯、85人です。生活扶助費が71万9千円の増、教育扶助費が9万5千円の減となっています。また単身世帯が8割。60歳以上が5割を占めている状況です。

福祉課長

生活保護法改定

住民の参加制度

平野 美津子 議員



- ・政治姿勢について
- （住民の参加制度）
- ・新宮紀宝道路について

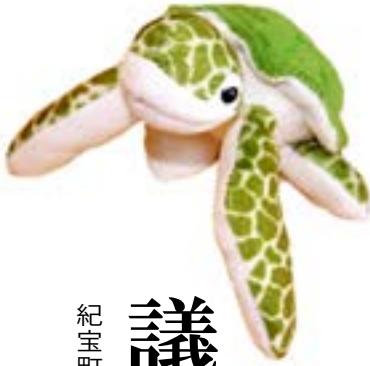
議員
町長の政治姿勢について
は、町長の所信表明で報告されています。私がずっとと言
い続けてきた0歳児保育の時
期を検討すると示されている
ので早い時期に実現していた
だけますようお願いします。
これまで種を植え、芽を出
し、幹を育てられたと報告い
ただきましたが、今後豊な暮
らしの花を咲かせ実を付ける
ためには、花を咲かせるため
にも自然環境を整え、専門的

議員
町長の政治姿勢について
は、町長の所信表明で報告さ
れていて、私がずっとと言
い続けてきた0歳児保育の時
期を検討すると示されている
ので早い時期に実現していた
だけますようお願いします。
これまで種を植え、芽を出
し、幹を育てられたと報告い
ただきましたが、今後豊な暮
らしの花を咲かせ実を付ける
ためには、花を咲かせるため
にも自然環境を整え、専門的

議員ご指摘のとおりでござ
いまして、議員おっしゃるよ
うに、高度な検討そういうた
部分についても例えばPFIの
ときには、大学の先生方の
ご意見も拝聴し取り組みを進
めてきたところです。これか

技術的知識及び経験等に基づく審議が必要と考えます。行政の意思決定過程とは、行政による基本計画、規則、要綱等の政策決定に至る過程に住民の参加制度が必要であると
思います。総務省は、自治体におけるパブリックコメント（行政が政策の立案に当たり、趣旨や内容を公表し、その影響を及ぼす対象者などの意見を求め、政策決定に際してこれを考慮すること）について、2007年10月1日現在の制定団体数605団体と
いうことで、32・4%あります。高速道路等も通る地域にもなってまいりましたので、行政手法としての高度な手法を取り入れていき、また町内に住んでいらっしゃる町民の皆さまの知識等を取り入れていくシステムづくりが今後必要ではないかと思いますが、町長の考えは。

次回 平成26年6月17日より開催予定



議会を傍聴してみませんか？

紀宝町をより良い町にするための議論を交わしています。



議場の様子



議場傍聴席。40席用意しています。



本議会では、町民の皆さまの生活に関する重要な問題について、熱い議論が交わされています。

本議会は議事の公開の原則により、会議中、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

町政への理解を深めていただくためにも、皆さまの傍聴をお待ちしております。

◆開催予定日時

◆本議会開催場所

平成26年6月17日
午前9時より

紀宝町役場 3階・議場

◆お問い合わせ

ご連絡ください。
紀宝町議会事務局まで
☎ 0735-33-0342

◆注意事項

- ①言論に対し拍手、その他の方針により可否を表明しないでください。
- ②飲食または喫煙をしないでください。
- ③携帯電話の電源をお切りください。
- ④写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

- ①紀宝町役場内3階の議会事務局で受付を行ってください。
先着順にて受付ています。
※傍聴席は40席です。

◆傍聴の手続き

①紀宝町役場内3階の議会事務局で受付を行ってください。

先着順にて受付ています。
※傍聴席は40席です。

■次回定例会の予定

6月17日（火）開会予定です。
傍聴は議会事務局で受付ています。

■議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の模様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ①役場本庁舎
 - ②生涯学習センターまなびの郷
 - ③福祉センター（鶴殿）
 - ④保健センター（神内）
 - ⑤相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ「町議会情報」→
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（3月）

- 監査委員の選任同意
- 監査委員に小山益生さんの選任に同意しました。
- 教育委員会委員の任命同意
- 大岡春雄さん、西章さんの任命に同意しました。
- 紀宝町職員の再任用に関する条例の制定
- 紀宝町森と緑の県民税交付基金条例の制定
- 紀宝町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正（他3件）
- 紀宝町営浄化槽整備推進事業契約書の改定
- 紀宝町高岡防災センターの指定管理者の指定
- 紀宝町道路線の認定
- 平成25年度一般会計・特別会計（2会計）補正予算
- 平成26年度一般会計・特別会計（6会計）予算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- 人権擁護委員に畦越進さんを推薦することに同意しました。
- 紀宝町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- 工事請負契約の変更（社会資本整備総合交付金事業波静橋架替工事その2）

意見書（3月）

- 世界文化遺産 川の参詣道「熊野川」の景観保護を求める意見書
- 災害時多目的船の導入を求める意見書
- 消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求める意見書

編集後記

3期目の紀宝町政をおこなうに当たり、西田健町長は徹底した改革、教育の充実、子育ての環境の実現、地域資源を生かした産業振興の推進、住民福祉の向上と特別養護老人ホームの建設、河口大橋事業化、災害復興、防災対策の推進などの実現にむけて努力したいと表明した。一方、国では4月から実施された消費税8%への増税、社会保障分野では、生活保護基準引き下げ、老人医療費2割に引き上げ、後期高齢者保険料の引き上げ、介護保険制度の見直し、年金2・5%引き下げなど。また対外的には、TPP交渉、集団的自衛権、日韓、日中問題も先行きが見えないなど、様々な不安要素が益々広がっている。蚊帳の外の出来事では済まされない。

（文責 原 章三）

「議会だより」（第30号）

編集委員 原 章三

山本 精一
的場 孝一